

野草等の地域資源を活用した入浴剤の開発に取り組んでいます！  
三次市（作木）との地域戦略協働プロジェクト事業 進捗状況報告

本プロジェクトでは、16名の研究室学生がコアメンバーとして参加し、関連講義における延べ100名を超える学生への話題提供を行うことができました。今年度の主な取り組みですが、日本の学生や留学生も参加して平成29年5月19日（金）江の川カヌー公園さくぎにてキックオフ会議および現地視察を実施しました。この様子はプレス発表すると共に、大学のHPでも紹介されました。

(<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/media/shoubaraogita.html>)

学生たちにとって地域協働研究を肌で感じる良い機会となっております。また、地元から各種植物材料をサンプリングして、その香り成分等を確かめながら試作品の検討を進めています。平成29年8月9日（水）～10日（木）には再度、江の川カヌー公園さくぎにて会議を行うと共に、学生参加で植物の配合などを試験して、たらいにお湯を張った「足湯」にて入浴剤の試作品を確認しています。合宿形式で良い交流の場になりました。この取り組みもプレス発表すると共に大学のHPでも取り上げていただきました。

(<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/media/shoubara290817ogita.html>)

最近では平成30年2月15日（木）には、江の川カヌー公園さくぎのコテージ内にて本プロジェクトの中間発表にて大学院生2名もエキスやディスプレイの作成や説明を行いました。写真は作木支所長に説明をする学生の様子、抽出エキスサンプルとプレス発表の様子です。



地元から採取した植物サンプル（ヒノキやクマザサ、他色々あります）



配合レシピを考案中です



「足湯」体験中です



サンプルの説明をする学生の様子



抽出エキスあれこれ



プレス発表当日の様子